

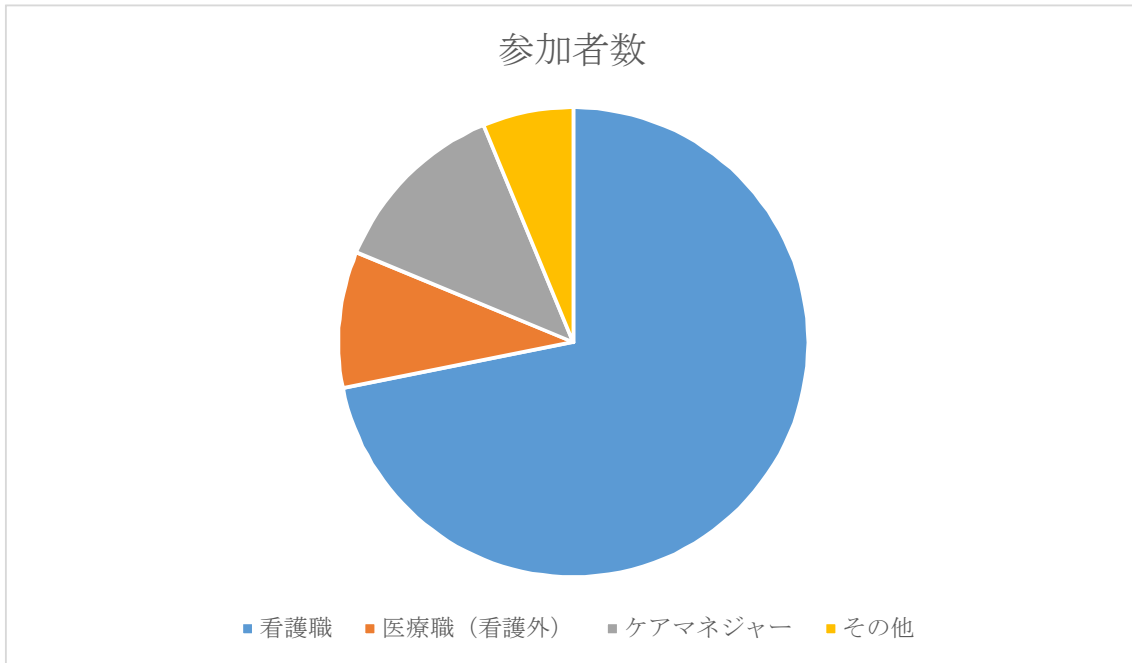
平成 30 年度看看連携事例検討会 報告書

平成 31 年 2 月 21 日 (月)

18:30~20:00

フォーラム南太田

参加者合計 64 名



【アンケート内容～感想～】

- ・対象者にとっての方向性の統一や情報共有が重要であると感じた。
- ・病院看護職だけでなく、地域看護職の意見が聞けて参考になった。
- ・目標に向けて多職種が関わることで在宅生活が可能になると思った。
- ・病気を治すことだけでなく、生活の改善が図れたことが良かった。
- ・援助者側の一方的な支援でなく、両者の思いが統一された成功例と感じた。
- ・地域連携で患者さんに対して何ができるか考えを広げるきっかけになった。
- ・現状改善だけでなく、その先の事も考える重要さがわかり参考になった。
- ・顔の見える関係性がより深まった。患者の気持ちに寄り添い、知恵を出し合うことの大切さを感じた。
- ・事例の背景が思い浮かぶ非常に良い内容だった。
- ・在宅支援には多職種の連携が重要であると再認識した。
- ・また佐藤病院の退院事例の発表を聞きたい。
- ・連携の成功事例が聞け、とても勉強になった。
- ・今後の業務に活かせることもたくさん勉強できた。

- ・先の視点を持つことの重要性が理解できた。
- ・本人の希望に寄り添いながらも、安全に支援することの大切さを学んだ。
- ・訪問看護からの事例を聞いてみたい。

*総じて、「楽しかった」「勉強になった」「このような事例発表ならばまた参加したい」など、肯定的なご意見がほとんどを占め、非常に好評でした。

*来年度も皆様のご意見を参考にさせていただき、看看連携事例検討会を企画させていただきます。

最後となりましたが、佐藤病院 竹内看護部長様、市大センター病院 徳永師長様、事例提供をしてくださった佐藤病院看護部の皆様のご協力ご支援に感謝しております。ありがとうございました。

地域の看看連携の一助となりましたら幸いです。

ご参加くださった皆様ありがとうございました。

グループワークのまとめは相談室 HP に掲載予定です。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

横浜市南区在宅医療相談室